



● 3/10 の 3 乗から

株式会社吉田 SKT

代表取締役会長 吉田 由孝

このたびの東北、関東地方の大震災で、被害に遭われた方々に対し、心よりお見舞い申し上げます。また、亡くなられた方々には、哀悼の意を表する同時に、ご冥福をお祈り申し上げます。

さて、サブプライムローンの、問題暴露から発したリーマンショックは、世界の経済に多大な傷を残して今日に至っております。

海外の企業の回復は、リーマンショック後、半年から1年以内にショック以前の状態に戻って、尚それを上回った売上や利益を出している企業も多くあるのが今日の世界の状況です。

これに反して、日本では、一応利益率の確保や、企業維持は出来てきてはいるが、まだまだ、リーマンショック前の状況に、完全に戻れ無い企業も多いかと聞いています。

又、震災や、円高と言う大波が日本を襲い、ますます企業には厳しい時代を迎えざるを得なくなってしまっております。

更に、日本国内には、少子高齢化や、それに伴う人口減少、又、1000兆円を超える政府の赤字、震災復興等、日本の将来を憂えさせる諸問題が山積みされております。

もともと、日本は、加工立国と言われ、資源を輸入し、加工して、付加価値を付ける事で成り立って来ました。食料や資源は、円高になり、輸入しやすくなりましたが、日本での加工品は、高コストのハンディキャップを付けられ、海外品との競争力を落として、だんだん、日本製品が、国内外で売りにくくなって来ているかと思えます。

さて、このような現状をふまえ、これからの日本国内の企業はいかに生きて行き、かつ、成長していくかを、今まで以上に考えねばならないかと存じます。それには、やはり、世界の人々や、企業から求められる、特殊な何かを保有することだと思えます。特殊な何かとは、他社に無かったり、秀でた技術や、サービスや、仕組みなどであると思えます。一般的には、よく特殊性と言われていています。その特殊性を極めて行

けば、オンリーワン企業になれる筈です。

さて、オンリーワン企業になるには、どうすればよいのか？又、オンリーワン企業に自社はなっているのか、なれるのかさえ、なかなか具体的には解らないのが現実かと思えます。

世界中の人々に求められ、世界中に1つしかない技術や、ノウハウを自分達が探す事は、とても重要な事だと思えます。しかし「開発商品が成功するのは、センミツ」すなわち3/1000だと言われていています。1000回の開発にのぞんで、3回位は成功すると言う意味ですから、世界のオンリーワン企業になるのは、これ以上の確率の悪さを乗り越える、途方もない努力が必要かと思うのは、当たり前ではないでしょうか？

でも、それは、本当にそうでしょうか？例えば、自分の業界を見渡して、10社中で3社がやる事の出来る、技術や、品質レベルの制御や、価格競争力や、サービスなどを、自社に取り入れる事は、「センミツ」に対して、それ程、難易度が高いことでしょうか？そんな事は無いと思えます。ですから、3/10の部分を追求して、それを自社の特徴にして、その技術なり、ノウハウなり、サービスなりを重ねる事により、 $3/10 \times 3/10 \times 3/10 = 27/1000$ の特徴を持つ企業にする事が出来ると思っています。1つの技術より2つ、2つより3つと、3/10の特徴を重ねる事で、本当に世の中で、貴重な企業になれると信じて、日々これを探し続ける事こそ、我々の生きる道かと思えます。

こんな日本に誰がした？こんな会社に誰がした？ではなく、未来ある日本に誰がする？未来ある会社に誰がする？ではないでしょうか。

(財)名古屋産業振興公社の皆様と交流を深め、お互いの3/10を学び、自社の特徴に変えるようにすることこそ、我々が我々の手で創る、未来ある日本や会社に、つながると信じております。

最後に改めて、震災に遭われた方々に対し、衷心よりお見舞い申し上げますと同時に、一日でも早く回復される事を、お祈りします。皆でがんばりましょう！